

資料 2

令和 3 年 度

# 歳入歳出決算補充説明

令和 4 年 1 1 月

子 ども ・ 福 祉 部

## 令和3年度歳入歳出決算補充説明

	頁 数
1 一般会計	
(1) 歳入	1
(2) 歳出	8
2 三重県母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計	16
3 三重県立子ども心身発達医療センター事業特別会計	17

## 令和3年度歳入歳出決算補充説明

子ども・福祉部の所管する令和3年度歳入歳出決算につきまして、お手元に配付いたしました「令和3年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」により、ご説明申し上げます。

### 1 一般会計

#### (1) 歳入

まず、一般会計の歳入についてご説明申し上げます。

子ども・福祉部の歳入合計は、

予算現額	126億7,994万8,000円
調定額	128億2,011万2,784円
収入済額	125億9,380万6,707円
収入未済額	2億796万9,531円
不納欠損額	1,833万6,546円 となっています。

以下、順次各項目についてご説明申し上げます。

#### 第7款 分担金及び負担金

##### 第2項 負担金

第3目 民生費負担金（40頁）のうち当部関係分は、

予算現額	5,025万円
調定額	6,901万6,055円
収入済額	5,009万3,710円
収入未済額	1,892万2,345円 で、

収入済額の主な内訳は、次のとおりです。

科 目	収入済額
心身障がい者扶養共済事業負担金	2,665万2,160円
児童措置費負担金	1,743万5,170円
障がい児入所施設措置費保護者等負担金	595万2,380円

収入未済額の主なものは、児童措置費負担金1,624万1,350円、障がい児入所施設措置費保護者等負担金232万585円などによるものです。

## 第8款 使用料及び手数料

### 第2項 手数料

第2目 民生手数料（52頁）のうち当部関係分は、

予算現額 400万 1,000円

調定額 340万円

収入済額 340万円 で、

これは、保育士資格登録手数料を収入したものです。

第3目 衛生手数料（54頁）のうち当部関係分は、

予算現額 3万 2,000円

調定額 3万 5,000円

収入済額 3万 5,000円 で、

これは、受胎調節実地指導員指定証交付手数料を収入したものです。

## 第9款 国庫支出金

### 第1項 国庫負担金

第3目 民生費負担金（70頁）のうち当部関係分は、

予算現額 44億 2,882万 8,000円

調定額 41億 3,097万 6,128円

収入済額 41億 3,097万 6,128円 で、

収入済額の内訳は、次のとおりです。

科 目	収入済額
児童保護費負担金	17億6,464万 973円
生活保護費負担金	15億6,929万 3,699円
障がい児施設措置費負担金	4億4,783万 6,758円
児童扶養手当負担金	2億 575万 9,080円

第4目 衛生費負担金のうち当部関係分は、

予算現額 251万円

調定額 160万 5,000円

収入済額 160万 5,000円 で、

これは、感染症予防事業費負担金を収入したものです。

## 第2項 国庫補助金

第2目 民生費補助金（80頁）のうち当部関係分は、

予算現額 54億 490万 9,000円  
調定額 49億 5,264万 4,401円  
収入済額 49億 5,264万 4,401円で、

収入済額の主な内訳は、次のとおりです。

科 目	収入済額
生活困窮者就労準備支援事業費等補助金	36億2,586万6,000円
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	2億5,440万7,280円
児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金	2億3,055万7,000円
障害者総合支援事業費補助金	2億 588万3,000円
新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金	1億4,645万3,000円

第3目 衛生費補助金（84頁）のうち当部関係分は、

予算現額 1,833万 9,000円  
調定額 1,705万 7,500円  
収入済額 1,705万 7,500円で、

収入済額の主な内訳は、次のとおりです。

科 目	収入済額
母子保健衛生費補助金	1,675万5,500円

第10目 教育費補助金（102頁）のうち当部関係分は、

予算現額 3億 4,506万 2,000円  
調定額 2億 9,157万 3,000円  
収入済額 2億 9,157万 3,000円で、

収入済額の内訳は、次のとおりです。

科 目	収入済額
私立高等学校等経常費助成費補助金	2億5,882万3,000円
教育支援体制整備事業費交付金	2,699万5,000円
認定こども園施設整備交付金	575万5,000円

## 第3項 委託金

第2目 民生費委託金（110頁）のうち当部関係分は、

予算現額 6,694万円  
調定額 6,657万 9,295円  
収入済額 6,657万 9,295円で、

収入済額の主な内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
遺族及び留守家族等援護事務委託金	3,053万4,880円
指導監査委託金	2,136万円
特別児童扶養手当法施行事務委託金	1,089万7,681円

## 第10款 財産収入

### 第1項 財産運用収入

第1目 財産貸付収入（120頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額	270 万円
調 定 額	259 万 8,768 円
収 入 済 額	259 万 8,768 円 で、

これは、三重県社会福祉会館の施設使用料を収入したものです。

第2目 利子及び配当金のうち当部関係分は、

予 算 現 額	15 万 3,000 円
調 定 額	15 万 3,869 円
収 入 済 額	15 万 3,869 円 で、

これは、安心こども基金および子ども基金の運用に伴う利子収入です。

### 第2項 財産売払収入

第1目 不動産売払収入のうち当部関係分は、

予 算 現 額	3 億 1,376 万 1,000 円
調 定 額	3 億 1,376 万 1,680 円
収 入 済 額	3 億 1,376 万 1,680 円 で、

これは、旧知的障害者更生相談所の土地および建物の売却による収入です。

## 第11款 寄附金

### 第1項 寄附金

第2目 総務費寄附金（124頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額	30 万円
調 定 額	520 万 211 円
収 入 済 額	520 万 211 円 で、

これは、新型コロナ克服みえ支え愛募金寄附金を収入したものです。

第3目 民生費寄附金のうち当部関係分は、

予算現額 460万円  
調定額 1,525万4,012円  
収入済額 1,525万4,012円で、

これは、子ども基金寄附金および福祉基金寄附金などを収入したものです。

## 第12款 繰入金

### 第1項 特別会計繰入金

第1目 他会計繰入金（128頁）のうち当部関係分は、

予算現額 933万5,000円  
調定額 933万5,491円  
収入済額 933万5,491円で、

これは、母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計からの繰入金を収入したものです。

### 第2項 基金繰入金

第1目 基金繰入金のうち当部関係分は、

予算現額 6億1,522万円  
調定額 5億9,389万6,870円  
収入済額 5億9,389万6,870円で、

収入済額の主な内訳は、次のとおりです。

科 目	収入済額
安心子ども基金繰入金	4億4,832万8,575円
福祉基金繰入金	7,342万9,653円
子ども基金繰入金	5,890万9,173円
財政調整基金繰入金	838万1,000円

## 第13款 繰越金

### 第1項 繰越金

第1目 繰越金（130頁）のうち当部関係分は、

予算現額 3億5,408万3,000円  
調定額 3億5,408万3,000円  
収入済額 3億5,408万3,000円で、

これは、前年度からの繰越事業に充当するため、繰り越したものです。

## 第14款 諸収入

### 第1項 延滞金、加算金及び過料等

第1目 延滞金（132頁）のうち当部関係分は、

予算現額	0円
調定額	1,000円
収入済額	1,000円で、

これは、生活保護費の返還に係る延滞金です。

### 第5項 受託事業収入

第3目 民生関係受託事業収入（138頁）は、

予算現額	3万5,000円
調定額	5万円
収入済額	5万円で、

これは、社会福祉援助技術現場実習受託に係る収入です。

### 第6項 収益事業収入

第1目 宝くじ収入（142頁）のうち当部関係分は、

予算現額	0円
調定額	5億7,769万2,930円
収入済額	5億7,769万2,930円で、

これは、私立幼稚園等振興補助金に充当した宝くじ収入です。

### 第8項 雑入

第2目 雑入のうち当部関係分は、

予算現額	5億8,240万円
調定額	9億718万5,244円
収入済額	8億8,863万7,026円
収入未済額	1,854万8,218円で、

収入済額の内訳は、次のとおりです。

科 目	収入済額
雑入	6億8,396万4,526円
心身障がい者扶養共済事業年金収入	1億9,767万円
人材育成支援事業研修受講料	700万2,500円

収入未済額は、雑入のうち、主に生活保護費返還金1,742万7,664円、児童扶養手当返還金107万3,650円などによるものです。

第3目 過年度収入（146頁）のうち当部関係分は、

予算現額	149万円
調定額	1億9,600万1,001円
収入済額	716万5,487円
収入未済額	1億7,049万8,968円
不納欠損額	1,833万6,546円で、

収入未済額の主なものは、生活保護費返還金9,119万9,844円、児童措置費負担金4,139万2,036円、児童扶養手当返還金1,294万1,950円、障がい児入所施設措置費保護者等負担金909万4,600円などで、それぞれ過年度に係るものです。

また、不納欠損額は、生活保護費返還金、児童措置費負担金、障がい児入所施設措置費保護者等負担金などで、地方自治法における債権消滅時効の規定などにに基づき処理したものです。

第5目 弁償金のうち当部関係分は、

予算現額	0円
調定額	7,489円
収入済額	7,489円で、

これは、中勢児童相談所における公用車接触事故に係る弁償金を収入したものです。

第6目 違約金及び延納利息のうち当部関係分は、

予算現額	0円
調定額	4,840円
収入済額	4,840円で、

これは、国児学園における消防用設備等点検業務委託の契約解除に伴う違約金を収入したものです。

## 第15款 県債

### 第1項 県債

第2目 民生債（150頁）のうち当部関係分は、

予算現額	4億7,500万円
調定額	3億1,200万円
収入済額	3億1,200万円で、

収入済額の主な内訳は、次のとおりです。

科 目	収 入 済 額
みえこどもの城運営事業費充当	1億4,800万円
家庭的養護推進事業費充当	4,000万円
次世代育成支援特別保育推進事業補助金充当	3,300万円

以上が、一般会計の歳入決算の概要です。

## (2) 歳出

引き続き、一般会計の歳出決算についてご説明申し上げます。

子ども・福祉部の歳出合計は、

予 算 現 額	491 億 3,996 万円
支 出 済 額	472 億 1,196 万 3,732 円
翌年度繰越額	5 億 1,777 万 6,000 円
不 用 額	14 億 1,022 万 268 円 となっています。

以下、順次各項目についてご説明申し上げます。

### 第3款 民生費（244頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額	453 億 3,567 万 9,000 円
支 出 済 額	435 億 6,241 万 3,070 円
翌年度繰越額	4 億 8,832 万 4,000 円
不 用 額	12 億 8,494 万 1,930 円 となっています。

### 第1項 社会福祉費

第1目 社会福祉総務費のうち当部関係分は、

予 算 現 額	70 億 514 万 4,000 円
支 出 済 額	69 億 3,275 万 2,332 円
不 用 額	7,239 万 1,668 円 で、

支出済額の主な内訳は、次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
低所得者等援護対策費	35億8,556万9,159円	生活福祉資金貸付事業や矯正施設を退所した高齢者や障がい者の支援などに要した経費
給与費	25億6,283万2,409円	子ども・福祉部職員の給与等
民間福祉団体等協働事業費	3億1,591万4,886円	民生委員・児童委員の活動や研修および県社会福祉協議会への支援などに要した経費

福祉サービス利用支援事業費	1億8,082万6,000円	判断能力に不安のある認知症高齢者や知的障がい者等が地域で自立した生活ができるよう日常生活の支援などに要した経費
子ども基金積立金	1億1,554万8,693円	子ども基金への積立金

不用額の主なものは、給与費の実績減3,306万6,591円、地域福祉推進啓発事業費の実績減2,196万4,560円などです。

第2目 障がい者福祉費（246頁）のうち当部関係分は、

予算現額 122億9,828万円  
 支出済額 118億755万3,055円  
 翌年度繰越額 4億1,870万円  
 不用額 7,202万6,945円 で、

支出済額の主な内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
障害者介護給付事業費	105億8,611万2,897円	障害者総合支援法に基づく各種障害福祉サービスの提供などに要した経費
障がい者地域生活支援事業費	5億2,001万16円	障害者手帳の交付、相談支援体制の充実、障害福祉サービスに従事する人材の育成などに要した経費
障がい者所得保障事業費	4億4,067万6,291円	心身障がい者の生活の安定を図るため、特別障害者手当の給付や年金給付共済事業に要した経費
障がい者社会活動推進事業費	1億7,977万999円	身体障害者福祉法などに基づき設置された施設の運営、障がい者の権利擁護の推進、障がい者スポーツ選手や競技団体の育成などに要した経費

翌年度繰越額は、障がい者の地域移行受け皿整備事業費で、国の令和3年度補正予算（第1号）に対応した事業であり、年度内では事業執行に必要な期間を確保できなかつたことなどから、やむを得ず繰り越したものです。

不用額の主なものは、障害者介護給付費負担金の実績減3,850万1,535円、障がい者スポーツ推進事業費の実績減1,313万4,693円などです。

第4目 遺族等援護費（250頁）は、

予 算 現 額	3,833万 8,000円
支 出 済 額	3,254万 5,471円
不 用 額	579万 2,529円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
戦傷病者・戦没者遺族 援護事業費	3,254万5,471円	戦没者追悼式の挙行、戦没者 遺族等に対する援護事業など に要した経費

不用額の主なものは、遺族及び留守家族等援護事業費の実績減 374万  
8,969円などです。

第5目 社会福祉施設費は、

予 算 現 額	3億 2,172万 4,000円
支 出 済 額	3億 1,162万 2,238円
不 用 額	1,010万 1,762円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
県立障がい児（者）福 祉施設等事業費	1億7,740万3,594円	障害者総合支援法、身体障害者 福祉法、知的障害者福祉法、 児童福祉法に基づき設置され た施設の運営に要した経費
女性相談所費	1億 681万3,578円	女性相談所の管理運営および 一時保護に要した経費
配偶者暴力相談支援セ ンター事業費	2,740万5,066円	市町や民間団体と連携した被 害者相談・保護・自立支援等 や、相談員や関係者の資質向 上のための研修会、DV防止 の啓発に要した経費

不用額の主なものは、女性相談事業費の実績減 755万 9,422円などです。

第7目 子ども対策費（254頁）は、

予 算 現 額	2,493万 7,000円
支 出 済 額	2,404万 2,713円
不 用 額	89万 4,287円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
子ども・若者対策事業 費	2,404万2,713円	青少年総合支援専門員の配置 などに要した経費

不用額は、子ども・若者対策事業費の実績減 89万 4,287円です。

## 第2項 児童福祉費

第1目 児童福祉総務費（256頁）のうち当部関係分は、

予算現額 146億3,207万1,000円  
 支出済額 140億5,386万6,881円  
 翌年度繰越額 5,822万4,000円  
 不用額 5億1,998万119円で、

支出済額の主な内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
保育所事業費	68億8,395万9,105円	子ども・子育て支援法に基づく教育・保育施設の運営助成などに要した経費
児童手当事業費	39億6,210万6,880円	児童手当の支給に要した経費
特別保育事業費	19億8,007万6,000円	低年齢児保育等を実施する保育所、地域子育て支援拠点、病児保育施設および放課後児童クラブの運営などの助成に要した経費
児童扶養手当事業費	7億5,292万4,298円	児童扶養手当の支給に要した経費

翌年度繰越額は、保育対策総合支援事業費で、国の令和3年度補正予算（第1号）に対応した事業であり、年度内では事業執行に必要な期間を確保できなかったことから、やむを得ず繰り越したものです。

不用額の主なものは、教育・保育給付事業費の実績減2億824万6,632円、児童手当事業費の実績減7,055万8,120円などです。

第2目 児童措置費（258頁）は、

予算現額 69億3,402万8,000円  
 支出済額 66億4,889万5,996円  
 不用額 2億8,513万2,004円で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
児童措置費	36億5,033万8,334円	要保護児童の児童福祉施設への入所措置に要した経費
障がい児福祉費	29億9,855万7,662円	障がい児の児童福祉施設への通所給付などに要した経費

不用額の主なものは、児童入所施設措置費の実績減2億7,106万5,283円などです。

第3目 母子福祉費のうち当部関係分は、

予 算 現 額	1 億 2,543 万 4,000 円
支 出 済 額	1 億 252 万 2,637 円
翌年度繰越額	1,140 万円
不 用 額	1,151 万 1,363 円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
ひとり親家庭等対策費	8,924万2,173円	「ひとり親家庭等自立促進計画」などに基づき、市町や関係機関と連携して教育・生活の支援および親への就業支援などを行うために要した経費
母子・父子自立支援員 設置事業費	1,328万 464円	母子・父子自立支援員の配置に要した経費

翌年度繰越額は、ひとり親家庭自立支援事業費で、国の令和3年度補正予算（第1号）に対応した事業であり、年度内では事業執行に必要な期間を確保できなかったことから、やむを得ず繰り越したものです。

不用額の主なものは、ひとり親家庭自立支援事業費の実績減 880 万 1,020 円などです。

第4目 児童福祉施設費（260頁）は、

予 算 現 額	10 億 5,894 万 1,000 円
支 出 済 額	9 億 4,406 万 8,480 円
不 用 額	1 億 1,487 万 2,520 円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
児童虐待防止総合対策 事業費	5億2,057万9,295円	相談体制の充実や関係機関との連携強化、要保護児童の家族再生支援の強化など総合的な児童虐待防止対策事業に要した経費
児童相談センター費	3億8,189万6,085円	児童相談所および一時保護所の管理運営等に要した経費
国児学園費	4,159万3,100円	国児学園の管理運営に要した経費

不用額の主なものは、児童養護施設費の実績減 3,640 万 6,239 円、管理運営費の実績減 2,860 万 1,942 円、児童一時保護事業費の実績減 2,490 万 973 円などです。

### 第3項 生活保護費

第1目 生活保護総務費（262頁）は、

予算現額	4,466万5,000円
支出済額	2,794万3,482円
不用額	1,672万1,518円

支出済額の主な内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
生活保護適正化推進事業費	2,493万208円	生活保護法の適正実施のために必要な各種調査、就労支援などに要した経費
監査指導費	170万3,793円	社会福祉法人等に対する指導・監査等に要した経費
指導調査研修費	96万5,433円	生活保護法の適正実施のための法律・制度の説明会などに要した経費

不用額の主なものは、生活保護適正化推進事業費の実績減1,464万8,247円などです。

第2目 扶助費（264頁）は、

予算現額	28億4,477万4,000円
支出済額	26億6,925万6,785円
不用額	1億7,551万7,215円

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
保護費	26億6,925万6,785円	生活保護法に基づいて生活扶助、住宅扶助、教育扶助、医療扶助、介護扶助等の保護の実施に要した経費

不用額の主なものは、生活保護法第73条関係負担金の実績減9,526万7,447円、生活保護扶助費の実績減7,622万4,356円などです。

### 第4項 災害救助費

第1目 救助費（266頁）のうち当部関係分は、

予算現額	734万3,000円
支出済額	734万3,000円

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説明
災害援護対策費	734万3,000円	災害弔慰金の支給、災害福祉支援ネットワーク構築に向けた体制整備などに要した経費

第4款 衛生費（268頁）のうち、当部関係分は、

予 算 現 額	23 億 4,639 万 2,000 円
支 出 済 額	22 億 6,063 万 3,336 円
不 用 額	8,575 万 8,664 円 となっています。

第1項 公衆衛生費

第1目 公衆衛生総務費のうち当部関係分は、

予 算 現 額	23 億 3,952 万円
支 出 済 額	22 億 5,954 万 1,166 円
不 用 額	7,997 万 8,834 円 で、

支出済額の主な内訳は、次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
子ども心身発達医療センター諸費	12億2,854万 185円	子ども心身発達医療センターへの繰出に要した経費
母子保健対策費	9億8,913万4,218円	特定不妊治療に係る費用の助成、先天性代謝異常等の検査などに要した経費
未熟児等援護費	2,682万 43円	未熟児に対する医療の給付に要した経費

不用額の主なものは、不妊相談・治療支援事業費の実績減 6,782 万 624 円などです。

第3項 保健所費

第1目 保健所費（280頁）のうち当部関係分は、

予 算 現 額	687 万 2,000 円
支 出 済 額	109 万 2,170 円
不 用 額	577 万 9,830 円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
保健所関係母子対策費	109万2,170円	「健やか親子いきいきプランみえ（第2次）」に基づく、妊娠期からの切れ目のない母子保健対策に要した経費

不用額は、健やか親子支援事業費の実績減 577 万 9,830 円です。

## 第10款 教育費

### 第9項 私立幼稚園費

第1目 私立幼稚園費（466頁）は、

予 算 現 額	14億 5,788万 9,000円
支 出 済 額	13億 8,891万 7,326円
翌年度繰越額	2,945万 2,000円
不 用 額	3,951万 9,674円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
私立幼稚園振興費	13億8,891万7,326円	私立幼稚園等振興補助金、私立幼稚園等心身障がい児助成事業補助金および認定こども園施設整備交付金等に要した経費

翌年度繰越額は、認定こども園等整備事業費で、国の令和3年度補正予算（第1号）に対応した事業であり、年度内では事業執行に必要な期間を確保できなかったことから、やむを得ず繰り越したものです。

不用額の主なものは、認定こども園施設整備事業費の実績減 3,473万 2,495円などです。

以上で、一般会計の歳入歳出決算の概要について説明を終わります。  
引き続き、特別会計についてご説明申し上げます。

## 2 三重県母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計

514 頁の三重県母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計は、母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づき、県内の母子家庭及び父子家庭並びに寡婦の自立促進を図るため、修学資金、生活資金などの各種資金について貸付を行うものです。

### (1) 歳入

まず、歳入についてご説明申し上げます。

歳入合計は、

予 算 現 額	7 億 8,728 万 6,000 円
調 定 額	12 億 1,629 万 6,743 円
収 入 済 額	8 億 9,250 万 7,781 円
収 入 未 済 額	3 億 2,378 万 8,962 円 となっています。

歳入のうち、第2款 諸収入は、

予 算 現 額	2 億 4,003 万 1,000 円
調 定 額	6 億 7,004 万 9,743 円
収 入 済 額	3 億 4,626 万 781 円
収 入 未 済 額	3 億 2,378 万 8,962 円 で、

これは、貸付金元利償還金などを収入したものです。

また、収入未済額は、貸付金元利償還金に係るものです。

第5款 繰入金は、

予 算 現 額	1,873 万 2,000 円
調 定 額	1,772 万 3,451 円
収 入 済 額	1,772 万 3,451 円 で、

これは、一般会計からの繰入金を収入したものです。

第7款 繰越金(516頁)は、

予 算 現 額	5 億 2,852 万 3,000 円
調 定 額	5 億 2,852 万 3,549 円
収 入 済 額	5 億 2,852 万 3,549 円 で、

これは、前年度の実質収支額を繰り越したものです。

## (2) 歳出

次に、歳出（518頁）についてご説明申し上げます。

歳出合計は、

予 算 現 額	7 億 8,728 万 6,000 円
支 出 済 額	2 億 423 万 5,236 円
不 用 額	5 億 8,305 万 764 円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事業名	支出済額	説 明
母子福祉資金貸付金	1億4,149万7,734円	母子、父子家庭や寡婦の経済的自立を図るため、児童の修学などの資金を無利子または低利で貸し付けるために要した経費
父子福祉資金貸付金	1,018万1,032円	
寡婦福祉資金貸付金	691万7,400円	
事務費	1,772万3,451円	
償還金	1,858万 128円	
繰出金	933万5,491円	

不用額の主なものは、貸付金の実績減 5 億 8,159 万 1,834 円などです。

これにより、実質収支額は、歳入合計の収入済額 8 億 9,250 万 7,781 円から歳出合計の支出済額 2 億 423 万 5,236 円を差し引いた 6 億 8,827 万 2,545 円（520 頁）となり、この額を令和 4 年度へ繰り越しています。

## 3 三重県立子ども心身発達医療センター事業特別会計

最後に、522 頁の三重県立子ども心身発達医療センター事業特別会計は、児童精神科・小児整形外科医療施設および医療型障害児入所施設である県立子ども心身発達医療センターの運営を行うものです。

### (1) 歳入

まず、歳入についてご説明申し上げます。

歳入合計は、

予 算 現 額	22 億 1,382 万 1,000 円
調 定 額	21 億 9,282 万 4,496 円
収 入 済 額	21 億 9,145 万 2,846 円
収 入 未 済 額	137 万 1,650 円 となっています。

歳入のうち、第 1 款 分担金及び負担金は、

予 算 現 額	7,007 万 3,000 円
調 定 額	6,841 万 6,340 円
収 入 済 額	6,841 万 6,340 円 で、

これは、主に措置入所に係る入院料などを収入したものです。

第2款 使用料及び手数料は、

予 算 現 額	8億 795万円
調 定 額	7億 9,323万 6,151円
収 入 済 額	7億 9,263万 2,897円
収 入 未 済 額	60万 3,254円 で、

これは、入院料および外来診察料などを収入したものです。

また、収入未済額の主なものは、入院料 58万 3,234円などによるものです。

第3款 繰入金は、

予 算 現 額	12億 3,443万 7,000円
調 定 額	12億 2,854万 185円
収 入 済 額	12億 2,854万 185円 で、

これは、一般会計からの繰入金を収入したものです。

第4款 諸収入（524頁）は、

予 算 現 額	2,280万 1,000円
調 定 額	1,833万 5,091円
収 入 済 額	1,756万 6,695円
収 入 未 済 額	76万 8,396円 で、

これは、併設の特別支援学校に係る施設管理業務負担金などを収入したものです。

また、収入未済額の主なものは、入院料で生じた子ども心身発達医療センター使用料および手数料の過年度分 72万 7,176円などです。

第5款 繰越金は、

予 算 現 額	6,948万 5,000円
調 定 額	6,948万 5,556円
収 入 済 額	6,948万 5,556円 で、

これは、前年度の実質収支額を繰り越したものです。

第6款 国庫支出金は、

予 算 現 額	849万 8,000円
調 定 額	1,423万 3,500円
収 入 済 額	1,423万 3,500円 で、

これは、母子保健衛生費補助金などを収入したものです。

第7款 財産収入は、

予 算 現 額 57万 7,000 円  
調 定 額 57万 7,673 円  
収 入 済 額 57万 7,673 円 で、

これは、職員公舎の貸付料などを収入したものです。

## (2) 歳出

次に、歳出（528頁）についてご説明申し上げます。

歳出合計は、

予 算 現 額 22億 1,382万 1,000 円  
支 出 済 額 21億 3,603万 9,104 円  
不 用 額 7,778万 1,896 円 で、

支出済額の内訳は、次のとおりです。

事 業 名	支 出 済 額	説 明
人件費	14億 173万6,932円	職員給与費等
運営事業費	7億1,631万 850円	管理運営費
医療支援事業費	1,799万1,322円	支援員人件費、CLM普及啓 発費等

不用額の主なものは、運営事業費の実績減4,366万8,150円などです。

これにより、実質収支額は、歳入合計の収入済額21億9,145万2,846円から歳出合計の支出済額21億3,603万9,104円を差し引いた5,541万3,742円（532頁）となり、この額を令和4年度へ繰り越しています。

以上をもちまして、令和3年度子ども・福祉部関係の歳入歳出決算の概要について説明を終わります。

何とぞよろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。